

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	毎月分配型	5年間（2015年1月22日～2020年1月21日）
	年2回決算型	約4年3カ月間（2015年10月15日～2020年1月21日）
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資する債券は国際復興開発銀行（世界銀行）が発行する債券および取得時において同機関と同等以上の格付を有する債券とします。</p> <p>ロ. ポートフォリオの修正デューレーションは、2年以内とすることを基本とします。</p> <p>ハ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州地域、中東・アフリカ地域、アジア地域および中南米地域の4地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ニ. 地域ごとに、各国の金利水準、経済情勢、流動性等を勘案して複数通貨を選定することを基本とし、市場動向を勘案して配分します。なお、組入通貨は、適宜見直しを行いません。</p> <p>ホ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。</p> <p>※市場環境によっては、上記の地域配分と異なる場合や地域ごとに複数通貨と異なる場合があります。</p> <p>※投資対象通貨は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットツ プロードの構成国を参考に選定します。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ短期国際機関債ファンド （毎月分配型）－成長の絆－ （年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

運用報告書（全体版）

毎月分配型	第37期（決算日 2018年2月21日）
	第38期（決算日 2018年3月22日）
	第39期（決算日 2018年4月23日）
	第40期（決算日 2018年5月21日）
	第41期（決算日 2018年6月21日）
	第42期（決算日 2018年7月23日）
年2回決算型	第6期（決算日 2018年7月23日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－／（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－」は、さる7月23日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5649>
<2702>

（毎月分配型）－成長の絆－

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算) (参考指数)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純総 資産額
	(分配落)	税込 分配 金 円	期中 騰落 率 %	期中 騰落 率 %	期中 騰落 率 %			
13期末(2016年2月22日)	7,850	40	△0.2	8,327	0.5	95.9	—	11,556
14期末(2016年3月22日)	8,143	40	4.2	8,803	5.7	96.4	—	11,110
15期末(2016年4月21日)	8,146	40	0.5	8,916	1.3	95.2	—	10,077
16期末(2016年5月23日)	7,744	40	△4.4	8,565	△3.9	94.5	—	8,811
17期末(2016年6月21日)	7,357	40	△4.5	8,337	△2.7	94.6	—	7,693
18期末(2016年7月21日)	7,633	40	4.3	8,779	5.3	95.4	—	7,331
19期末(2016年8月22日)	7,322	40	△3.6	8,491	△3.3	95.5	—	6,708
20期末(2016年9月21日)	7,308	40	0.4	8,451	△0.5	95.2	—	6,281
21期末(2016年10月21日)	7,385	40	1.6	8,728	3.3	95.6	—	6,083
22期末(2016年11月21日)	7,431	40	1.2	8,666	△0.7	94.8	—	5,710
23期末(2016年12月21日)	7,912	40	7.0	9,281	7.1	91.8	—	5,804
24期末(2017年1月23日)	7,717	40	△2.0	9,138	△1.5	92.5	—	5,583
25期末(2017年2月21日)	7,856	40	2.3	9,320	2.0	93.6	—	5,428
26期末(2017年3月21日)	8,013	40	2.5	9,476	1.7	93.4	—	5,340
27期末(2017年4月21日)	7,840	40	△1.7	9,295	△1.9	91.6	—	4,866
28期末(2017年5月22日)	8,002	40	2.6	9,537	2.6	92.9	—	4,772
29期末(2017年6月21日)	7,956	40	△0.1	9,658	1.3	92.6	—	4,541
30期末(2017年7月21日)	8,152	40	3.0	9,971	3.2	92.5	—	4,532
31期末(2017年8月21日)	7,912	40	△2.5	9,760	△2.1	86.8	—	4,263
32期末(2017年9月21日)	8,149	40	3.5	10,280	5.3	93.7	—	4,159
33期末(2017年10月23日)	8,014	40	△1.2	10,162	△1.1	93.7	—	3,962
34期末(2017年11月21日)	7,754	40	△2.7	9,893	△2.6	94.6	—	3,718
35期末(2017年12月21日)	8,011	40	3.8	10,187	3.0	94.2	—	3,746
36期末(2018年1月22日)	8,067	40	1.2	10,306	1.2	93.7	—	3,718
37期末(2018年2月21日)	7,832	40	△2.4	10,061	△2.4	93.2	—	3,570
38期末(2018年3月22日)	7,632	40	△2.0	9,867	△1.9	93.4	—	3,388
39期末(2018年4月23日)	7,555	40	△0.5	10,079	2.1	95.1	—	3,208
40期末(2018年5月21日)	7,363	40	△2.0	9,724	△3.5	95.2	—	3,084
41期末(2018年6月21日)	7,123	40	△2.7	9,471	△2.6	94.0	—	2,914
42期末(2018年7月23日)	7,228	40	2.0	9,562	1.0	93.2	—	2,898

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

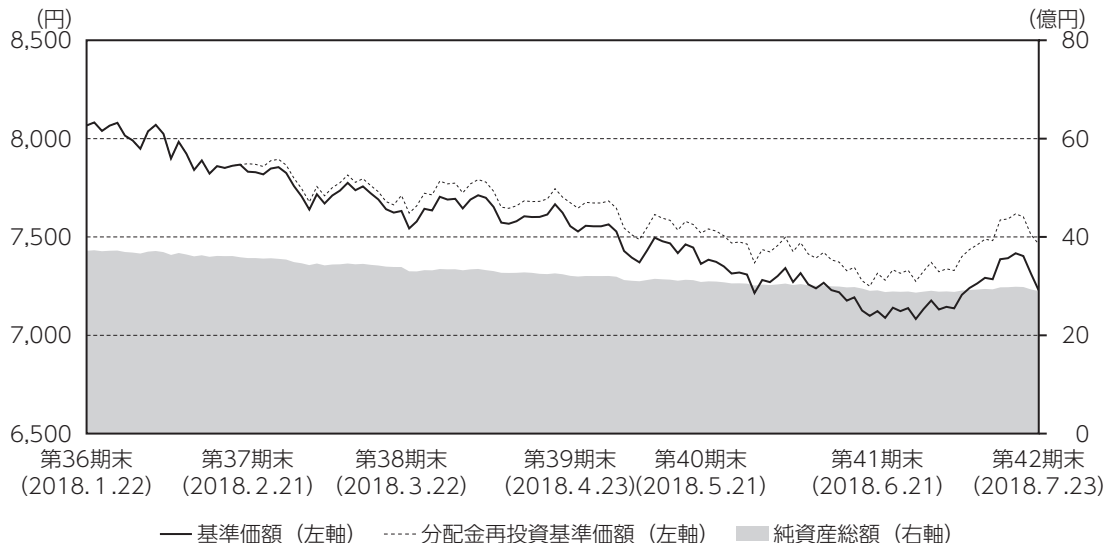
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第37期首：8,067円

第42期末：7,228円（既払分配金240円）

騰落率：△7.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことや債券の価格が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

	年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-Euro Broad Diversified (円 換 算) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率		騰 落 率		
第37期	(期首) 2018年1月22日	円 8,067	% -	10,306	% -	% 93.7	% -
	1月末	7,948	△1.5	10,192	△1.1	92.2	-
	(期末) 2018年2月21日	7,872	△2.4	10,061	△2.4	93.2	-
第38期	(期首) 2018年2月21日	7,832	-	10,061	-	93.2	-
	2月末	7,825	△0.1	10,049	△0.1	93.2	-
	(期末) 2018年3月22日	7,672	△2.0	9,867	△1.9	93.4	-
第39期	(期首) 2018年3月22日	7,632	-	9,867	-	93.4	-
	3月末	7,690	0.8	10,032	1.7	94.7	-
	(期末) 2018年4月23日	7,595	△0.5	10,079	2.1	95.1	-
第40期	(期首) 2018年4月23日	7,555	-	10,079	-	95.1	-
	4月末	7,554	△0.0	10,034	△0.4	92.2	-
	(期末) 2018年5月21日	7,403	△2.0	9,724	△3.5	95.2	-
第41期	(期首) 2018年5月21日	7,363	-	9,724	-	95.2	-
	5月末	7,281	△1.1	9,564	△1.6	95.0	-
	(期末) 2018年6月21日	7,163	△2.7	9,471	△2.6	94.0	-
第42期	(期首) 2018年6月21日	7,123	-	9,471	-	94.0	-
	6月末	7,133	0.1	9,406	△0.7	94.9	-
	(期末) 2018年7月23日	7,268	2.0	9,562	1.0	93.2	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.1.23～2018.7.23)

■債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要因に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・アジア地域

インド・ルピーおよびインドネシア・ルピアともに、新興国からの資金流出への懸念や米中貿易摩擦への懸念の高まりによる市場のリスク回避の動きなどから、対円で下落しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、欧米との関係悪化への懸念などから対円で下落しました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、外部環境の影響などから対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルおよびメキシコ・ペソは、大統領選挙をめぐる不透明感などから対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なっています。

ポートフォリオについて

(2018.1.23～2018.7.23)

■当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

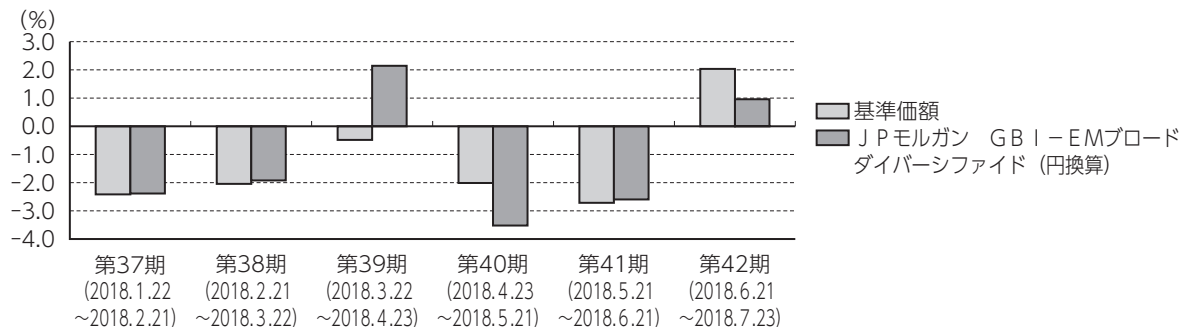
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期間の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第37期から第42期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ40円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	2018年1月23日 ～2018年2月21日	2018年2月22日 ～2018年3月22日	2018年3月23日 ～2018年4月23日	2018年4月24日 ～2018年5月21日	2018年5月22日 ～2018年6月21日	2018年6月22日 ～2018年7月23日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（％）	0.51	0.52	0.53	0.54	0.56	0.55
当期の収益（円）	38	36	38	33	35	40
当期の収益以外（円）	1	3	1	6	4	－
翌期繰越分配対象額（円）	228	225	223	217	212	216

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
(a) 経費控除後の配当等収益	38.30円	36.47円	38.50円	33.42円	35.18円	44.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	16.24	16.50	16.77	17.04	17.86	18.14
(d) 分配準備積立金	214.00	212.05	208.28	206.53	199.19	194.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	268.55	265.04	263.56	257.00	252.24	256.42
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	228.55	225.04	223.56	217.00	212.24	216.42

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	第37期～第42期 (2018.1.23～2018.7.23)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.718%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,546円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.322)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0.733	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年1月23日から2018年7月23日まで)

決算期	第37期～第42期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	13,472	12,718	620,681	587,009

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第37期～第42期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第36期末	第42期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	3,715,821	3,108,613	2,884,482

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月21日)、(2018年3月22日)、(2018年4月23日)、(2018年5月21日)、(2018年6月21日)、(2018年7月23日)現在

項目	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末
(A) 資産	3,620,648,588円	3,414,917,243円	3,233,381,551円	3,107,779,859円	2,969,317,617円	2,931,771,135円
コール・ローン等	39,629,120	37,894,559	36,460,354	35,085,551	34,449,972	33,564,704
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	3,553,443,255	3,372,503,197	3,193,348,477	3,069,675,595	2,900,257,464	2,884,482,429
未収入金	27,576,213	4,519,487	3,572,720	3,018,713	34,610,181	13,724,002
(B) 負債	50,105,609	26,182,693	24,595,228	23,265,146	54,706,049	33,202,101
未払収益分配金	18,236,202	17,759,806	16,989,256	16,757,554	16,367,259	16,040,117
未払解約金	27,488,976	4,384,590	3,346,810	2,905,391	34,511,817	13,325,400
未払信託報酬	4,356,060	3,991,486	4,188,790	3,511,827	3,715,651	3,704,382
その他未払費用	24,371	46,811	70,372	90,374	111,322	132,202
(C) 純資産総額(A-B)	3,570,542,979	3,388,734,550	3,208,786,323	3,084,514,713	2,914,611,568	2,898,569,034
元本	4,559,050,577	4,439,951,542	4,247,314,088	4,189,388,678	4,091,814,921	4,010,029,314
次期繰越損益金	△ 988,507,598	△1,051,216,992	△1,038,527,765	△1,104,873,965	△1,177,203,353	△1,111,460,280
(D) 受益権総口数	4,559,050,577口	4,439,951,542口	4,247,314,088口	4,189,388,678口	4,091,814,921口	4,010,029,314口
1万口当り基準価額(C/D)	7,832円	7,632円	7,555円	7,363円	7,123円	7,228円

*第36期末における元本額は4,609,555,019円、当作成期間（第37期～第42期）中における追加設定元本額は42,506,572円、同解約元本額は642,032,277円です。

*第42期末の計算口数当りの純資産額は7,228円です。

*第42期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,111,460,280円です。

■投資信託財産の構成

2018年7月23日現在

項目	第42期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	2,884,482	98.4
コール・ローン等、その他	47,288	1.6
投資信託財産総額	2,931,771	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.96円、1トルコ・リラ=23.26円、1メキシコ・ペソ=5.83円、1インド・ルピー=1.63円、100インドネシア・ルピア=0.77円、1ブラジル・リアル=29.43円、1ロシア・ルーブル=1.75円、1南アフリカ・ランド=8.29円、1ユーロ=130.28円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、第42期末における外貨建純資産（2,893,133千円）の投資信託財産総額（2,914,912千円）に対する比率は、99.3%です。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

■損益の状況

第37期 自2018年1月23日 至2018年2月21日 第40期 自2018年4月24日 至2018年5月21日
 第38期 自2018年2月22日 至2018年3月22日 第41期 自2018年5月22日 至2018年6月21日
 第39期 自2018年3月23日 至2018年4月23日 第42期 自2018年6月22日 至2018年7月23日

項 目	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期	第 42 期
(A) 配当等収益	△ 808円	△ 985円	△ 961円	△ 407円	△ 215円	△ 124円
受取利息	7	9	15	－	4	6
支払利息	△ 815	△ 994	△ 976	△ 407	△ 219	△ 130
(B) 有価証券売買損益	△ 84,486,264	△ 66,756,785	△ 11,716,473	△ 60,219,735	△ 77,967,315	△ 61,979,866
売買益	840,830	749,503	614,419	222,184	1,511,897	62,703,688
売買損	△ 85,327,094	△ 67,506,288	△ 12,330,892	△ 60,441,919	△ 79,479,212	△ 723,822
(C) 信託報酬等	△ 4,380,431	△ 4,013,926	△ 4,212,555	△ 3,532,325	△ 3,737,872	△ 3,726,494
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 88,867,503	△ 70,771,696	△ 15,929,989	△ 63,752,467	△ 81,705,402	△ 58,253,248
(E) 前期繰越損益	△ 818,706,339	△ 900,569,987	△ 945,046,693	△ 963,423,472	△ 1,015,742,371	△ 1,090,046,608
(F) 追加信託差損益金	△ 62,697,554	△ 62,115,503	△ 60,561,827	△ 60,940,472	△ 63,388,321	△ 63,626,803
(配当等相当額)	(7,406,964)	(7,329,986)	(7,125,494)	(7,139,871)	(7,308,606)	(7,276,448)
(売買損益相当額)	(△ 70,104,518)	(△ 69,445,489)	(△ 67,687,321)	(△ 68,080,343)	(△ 70,696,927)	(△ 70,903,251)
(G) 合計(D+E+F)	△ 970,271,396	△ 1,033,457,186	△ 1,021,538,509	△ 1,088,116,411	△ 1,160,836,094	△ 1,095,420,163
(H) 収益分配金	△ 18,236,202	△ 17,759,806	△ 16,989,256	△ 16,757,554	△ 16,367,259	△ 16,040,117
次期繰越損益(G+H)	△ 988,507,598	△ 1,051,216,992	△ 1,038,527,765	△ 1,104,873,965	△ 1,177,203,353	△ 1,111,460,280
追加信託差損益金	△ 62,697,554	△ 62,115,503	△ 60,561,827	△ 60,940,472	△ 63,388,321	△ 63,626,803
(配当等相当額)	(7,406,964)	(7,329,986)	(7,125,494)	(7,139,871)	(7,308,606)	(7,276,448)
(売買損益相当額)	(△ 70,104,518)	(△ 69,445,489)	(△ 67,687,321)	(△ 68,080,343)	(△ 70,696,927)	(△ 70,903,251)
分配準備積立金	96,791,013	92,587,714	87,830,636	83,770,896	79,539,714	79,509,033
繰越損益金	△ 1,022,601,057	△ 1,081,689,203	△ 1,065,796,574	△ 1,127,704,389	△ 1,193,354,746	△ 1,127,342,510

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期	第 42 期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,463,434円	16,195,290円	16,356,056円	14,003,866円	14,398,286円	17,706,784円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,406,964	7,329,986	7,125,494	7,139,871	7,308,606	7,276,448
(d) 分配準備積立金	97,563,781	94,152,230	88,463,836	86,524,584	81,508,687	77,842,366
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	122,434,179	117,677,506	111,945,386	107,668,321	103,215,579	102,825,598
(f) 分配金	18,236,202	17,759,806	16,989,256	16,757,554	16,367,259	16,040,117
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	104,197,977	99,917,700	94,956,130	90,910,767	86,848,320	86,785,481
(h) 受益権総口数	4,559,050,577□	4,439,951,542□	4,247,314,088□	4,189,388,678□	4,091,814,921□	4,010,029,314□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期	第 42 期
1 万 口 当 り 分 配 金	40円	40円	40円	40円	40円	40円
(単 価)	(7,832円)	(7,632円)	(7,555円)	(7,363円)	(7,123円)	(7,228円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロードダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末(2016年7月21日)	8,972	50	△0.1	9,641	6.0	95.4	－	12
3期末(2017年1月23日)	9,331	50	4.6	10,036	4.1	92.5	－	15
4期末(2017年7月21日)	9,813	340	8.8	10,950	9.1	92.6	－	34
5期末(2018年1月22日)	9,959	50	2.0	11,319	3.4	93.7	－	18
6期末(2018年7月23日)	9,165	50	△7.5	10,501	△7.2	93.3	－	16

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロードダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

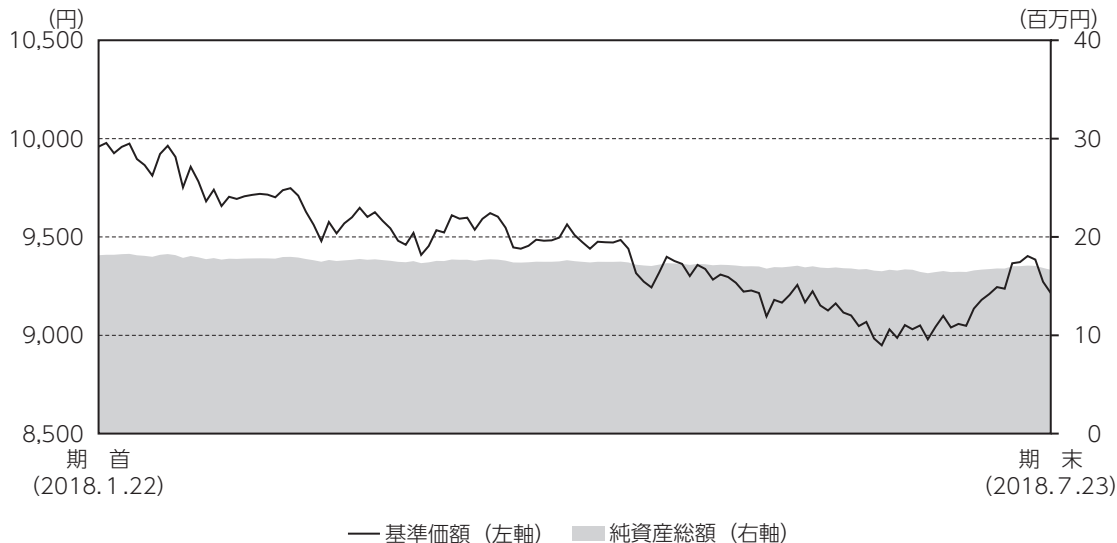
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,959円

期末：9,165円（分配金50円）

騰落率：△7.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことや債券の価格が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード ダイバーシファイド (円 換 算)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年 1 月22日	円 9,959	% -	11,319	% -	% 93.7	% -
1 月末	9,812	△1.5	11,193	△1.1	92.2	-
2 月末	9,710	△2.5	11,036	△2.5	93.2	-
3 月末	9,593	△3.7	11,018	△2.7	94.8	-
4 月末	9,472	△4.9	11,019	△2.6	92.3	-
5 月末	9,180	△7.8	10,503	△7.2	95.1	-
6 月末	9,043	△9.2	10,330	△8.7	94.9	-
(期末) 2018年 7 月23日	9,215	△7.5	10,501	△7.2	93.3	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.1.23～2018.7.23)

■債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要因に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・アジア地域

インド・ルピーおよびインドネシア・ルピアともに、新興国からの資金流出への懸念や米中貿易摩擦への懸念の高まりによる市場のリスク回避の動きなどから、対円で下落しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、欧米との関係悪化への懸念などから対円で下落しました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、外部環境の影響などから対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルおよびメキシコ・ペソは、大統領選挙をめぐる不透明感などから対円で下落しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なっています。

ポートフォリオについて

(2018.1.23~2018.7.23)

■当ファンド

期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

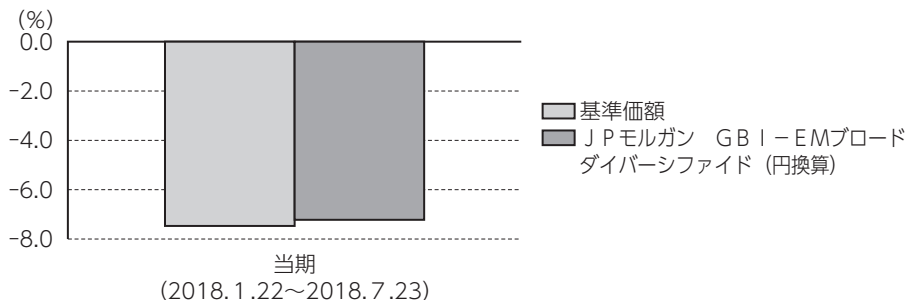
合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は50円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年1月23日 ～2018年7月23日	
当期分配金（税込み）	（円）	50
対基準価額比率	（％）	0.54
当期の収益	（円）	50
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	990

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	277.46円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	335.93
(d) 分配準備積立金	427.57
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,040.96
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	990.97

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.1.23~2018.7.23)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.721%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,435円です。
（投 信 会 社）	(31)	(0.324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	69	0.736	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年1月23日から2018年7月23日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債 マザーファンド	206	203	467	430

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得
10	-	-	10	

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	18,127	17,866	16,578	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	16,578	98.3
コール・ローン等、その他	294	1.7
投資信託財産総額	16,873	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.96円、1トルコ・リラ＝23.26円、1メキシコ・ペソ＝5.83円、1インド・ルピー＝1.63円、100インドネシア・ルピア＝0.77円、1ブラジル・レアル＝29.43円、1ロシア・ルーブル＝1.75円、1南アフリカ・ランド＝8.29円、1ユーロ＝130.28円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,893,133千円)の投資信託財産総額(2,914,912千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	16,873,030円
コール・ローン等	294,441
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	16,578,589
(B) 負債	216,544
未払収益分配金	90,872
未払信託報酬	125,111
その他未払費用	561
(C) 純資産総額(A - B)	16,656,486
元本	18,174,434
次期繰越損益金	△ 1,517,948
(D) 受益権総口数	18,174,434口
1万口当り基準価額(C / D)	9,165円

* 期首における元本額は18,215,059円、当期中における追加設定元本額は273,848円、同解約元本額は314,473円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,165円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,517,948円です。

■損益の状況

当期 自2018年1月23日 至2018年7月23日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△1,221,343円
売買益	25,895
売買損	△1,247,238
(B) 信託報酬等	△ 125,672
(C) 当期損益金(A + B)	△1,347,015
(D) 前期繰越損益金	715,258
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 795,319 (610,538)
(売買損益相当額)	(△1,405,857)
(F) 合計(C + D + E)	△1,427,076
(G) 収益分配金	△ 90,872
次期繰越損益金(F + G)	△1,517,948
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 795,319 (610,538)
(売買損益相当額)	(△1,405,857)
分派準備積立金	1,190,494
繰越損益金	△1,913,123

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は19ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	504,268円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	610,538
(d) 分配準備積立金	777,098
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,891,904
(f) 分配金	90,872
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,801,032
(h) 受益権総口数	18,174,434口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、7月23日現在の基準価額（1万口当り9,165円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ短期国際機関債マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2018年7月23日)

(計算期間 2018年1月23日～2018年7月23日)

ダイワ短期国際機関債マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての国際機関債
運用方法	<p>①主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資する債券は国際復興開発銀行（世界銀行）が発行する債券および取得時において同機関と同等以上の格付を有する債券とします。</p> <p>ロ. ポートフォリオの修正デュレーションは、2年以内とすることを基本とします。</p> <p>ハ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州地域、中東・アフリカ地域、アジア地域および中南米地域の4地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ニ. 地域ごとに、各国の金利水準、経済情勢、流動性等を勘案して複数通貨を選定することを基本とし、市場動向を勘案して配分します。なお、組入通貨は、適宜見直しを行ないます。</p> <p>ホ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。</p> <p>※市場環境によっては、上記の地域配分とならない場合や地域ごとに複数通貨とならない場合があります。</p> <p>※投資対象通貨は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ ブロードの構成国を参考に選定します。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

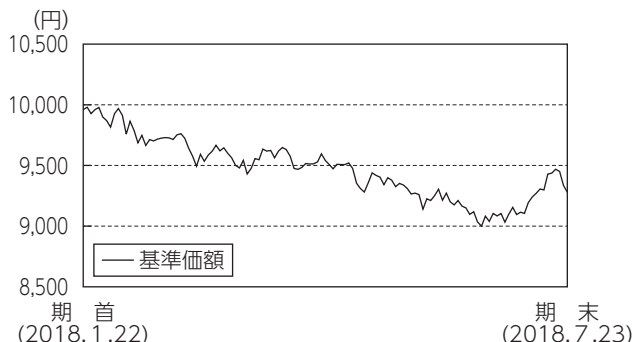
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2018年1月22日	9,960	-	10,306	-	94.1	-
1月末	9,816	△1.4	10,192	△1.1	92.6	-
2月末	9,724	△2.4	10,049	△2.5	93.6	-
3月末	9,618	△3.4	10,032	△2.7	95.2	-
4月末	9,507	△4.5	10,034	△2.6	92.7	-
5月末	9,225	△7.4	9,564	△7.2	95.4	-
6月末	9,098	△8.7	9,406	△8.7	95.3	-
(期末)2018年7月23日	9,279	△6.8	9,562	△7.2	93.7	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,960円 期末：9,279円 騰落率：△6.8%

【基準価額の主な変動要因】

債券の利息収入はプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことや債券の価格が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況・為替相場

新興国債券市場や投資対象通貨の対円為替相場では、個別国の要因に加えて、米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念

や米国の保護貿易主義への懸念の高まりの影響を受ける展開となりました。

・アジア地域

インド・ルピーおよびインドネシア・ルピアとともに、新興国からの資金流出への懸念や米中貿易摩擦への懸念の高まりによる市場のリスク回避の動きなどから、対円で下落しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、中央銀行の独立性への懸念が高まり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、欧米との関係悪化への懸念などから対円で下落しました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、外部環境の影響などから対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルおよびメキシコ・ペソは、大統領選挙をめぐる不透明感などから対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドとしました。また、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとしました。

合わせて、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行ないます。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行ないます。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行なっております。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
合 計	1

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年1月23日から2018年7月23日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	千トルコ・リラ —	千トルコ・リラ 873 (1,500)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 6,542	千メキシコ・ペソ 7,562 (16,400)
	インド	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 35,895 (—)
	インドネシア	千インドネシア・ルピア 36,091,750	千インドネシア・ルピア 5,816,445 (34,000,000)
	ブラジル	千ブラジル・リアル 9,419	千ブラジル・リアル 250 (9,250)
	ロシア	千ロシア・ルーブル 150,447	千ロシア・ルーブル 40,501 (156,350)
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 11,197 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年1月23日から2018年7月23日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関)	9.5% 2019/4/15	234,696	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	9% 2018/12/21	86,432
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	8.75% 2018/12/17	182,288	INTL. FIN. CORP. (国際機関)	8.75% 2018/12/17	63,943
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	12% 2019/1/29	164,300	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4% 2020/2/25	38,380
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	10% 2019/6/14	131,767	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関)	8% 2018/6/11	35,236
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関)	10% 2019/9/16	63,945	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	6.6% 2019/3/4	30,842
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	4% 2020/2/25	38,271	INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.45% 2018/10/30	28,026
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関)	8% 2018/6/11	27,995	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	8% 2018/10/11	22,501
INTL. FIN. CORP. (国際機関)	6.75% 2020/2/3	26,547	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	7.5% 2019/1/30	13,008
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	10% 2018/11/16	16,337	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関)	7.2% 2019/7/9	10,413
			EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関)	8% 2018/4/26	9,255

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ短期国際機関債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	作 成 期	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	未		
			評 価	額			残 存 期 間 別 組 入 比 率	5 年 以 上	2 年 以 上
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
トルコ		千トルコ・リラ 12,800	千トルコ・リラ 12,523	千円 291,288	% 10.0	% -	% -	% -	% 10.0
メキシコ		千メキシコ・ペソ 75,950	千メキシコ・ペソ 75,505	440,198	15.2	-	-	-	15.2
インド		千インド・ルピー 224,000	千インド・ルピー 223,440	364,208	12.6	-	-	-	12.6
インドネシア		千インドネシア・ルピア 41,700,000	千インドネシア・ルピア 41,939,787	322,936	11.1	-	-	-	11.1
ブラジル		千ブラジル・レアル 9,000	千ブラジル・レアル 9,270	272,843	9.4	-	-	-	9.4
ロシア		千ロシア・ルーブル 181,900	千ロシア・ルーブル 184,682	323,194	11.1	-	-	-	11.1
南アフリカ		千南アフリカ・ランド 84,600	千南アフリカ・ランド 84,885	703,704	24.3	-	-	-	24.3
合 計		-	-	2,718,375	93.7	-	-	-	93.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	未		償 還 年 月 日
					評 価	額	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券	8.0000	千トルコ・リラ 6,600	千トルコ・リラ 6,429	千円 149,556	2018/10/11
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券	11.0000	6,200	6,093	141,731	2018/09/28
通貨小計	銘 柄 数 金 額	2銘柄		12,800	12,523	291,288	
メキシコ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特 殊 債 券	3.7000	千メキシコ・ペソ 17,000	千メキシコ・ペソ 17,012	99,184	2018/08/13
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特 殊 債 券	4.0000	12,000	11,991	69,910	2018/08/16
	INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券	3.7800	20,950	20,861	121,620	2018/08/22
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券	4.5000	26,000	25,640	149,483	2018/12/18
通貨小計	銘 柄 数 金 額	4銘柄		75,950	75,505	440,198	
インド	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特 殊 債 券	6.3750	千インド・ルピー 40,000	千インド・ルピー 39,976	65,161	2018/08/07
	INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券	6.4500	133,000	132,724	216,341	2018/10/30
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	6.6000	51,000	50,739	82,706	2019/03/04
通貨小計	銘 柄 数 金 額	3銘柄		224,000	223,440	364,208	
インドネシア	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	7.2000	千インドネシア・ルピア 6,700,000	千インドネシア・ルピア 6,600,237	50,821	2019/07/09
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券	10.0000	5,000,000	5,006,550	38,550	2018/11/16
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	9.5000	30,000,000	30,333,000	233,564	2019/04/15
通貨小計	銘 柄 数 金 額	3銘柄		41,700,000	41,939,787	322,936	
ブラジル	INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券	12.0000	千ブラジル・レアル 5,000	千ブラジル・レアル 5,144	151,389	2019/01/29

当		期			末																								
区	分	銘	柄	種	類	年	利	率	額	面	金	額	評	価	額	償	還	年	月	日									
													外	貨	建	金	額	邦	貨	換	算	金	額						
		INTL. FIN. CORP.		特	殊	債	券	10.0000	%	千	ブラ	ジ	ル	・	レ	アル	千	ブラ	ジ	ル	・	レ	アル	千	円				
			2	銘	柄					4,000			4,126				121,454							2019/06/14					
通貨小計	銘		2	柄						9,000			9,270				272,843												
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT		特	殊	債	券	10.0000	%	千	ロ	シ	ア	・	ル	ー	プ	ル	千	ロ	シ	ア	・	ル	ー	プ	ル		
		INTL. FIN. CORP.		特	殊	債	券	8.7500		35,000			36,535				63,937								2019/09/16				
		INTL. FIN. CORP.		特	殊	債	券	6.7500		131,900			132,944				232,653								2018/12/17				
		INTL. FIN. CORP.		特	殊	債	券			15,000			15,202				26,604								2020/02/03				
通貨小計	銘		3	柄						181,900			184,682				323,194												
		EUROPEAN INVESTMENT BANK		特	殊	債	券	9.0000		千	南	ア	フ	リ	カ	・	ラ	ン	ド	千	南	ア	フ	リ	カ	・	ラ	ン	ド
		EUROPEAN INVESTMENT BANK		特	殊	債	券	7.5000		66,100			66,391				550,385									2018/12/21			
通貨小計	銘		2	柄						18,500			18,494				153,318									2019/01/30			
			2	銘						84,600			84,885				703,704												
合 計	銘		19	柄													2,718,375												

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ短期国際機関債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2018年7月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,718,375	93.3
コール・ローン等、その他	196,537	6.7
投資信託財産総額	2,914,912	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.96円、1トルコ・リラ=23.26円、1メキシコ・ペソ=5.83円、1インド・ルピー=1.63円、100インドネシア・ルピア=0.77円、1ブラジル・レアル=29.43円、1ロシア・ルーブル=1.75円、1南アフリカ・ランド=8.29円、1ユーロ=130.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,893,133千円)の投資信託財産総額(2,914,912千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,914,912,906円
コール・ローン等	83,532,609
公社債(評価額)	2,718,375,305
未収利息	92,617,238
前払費用	20,387,754
(B) 負債	13,724,707
未払解約金	13,724,002
その他未払費用	705
(C) 純資産総額(A - B)	2,901,188,199
元本	3,126,480,245
次期繰越損益金	△ 225,292,046
(D) 受益権総口数	3,126,480,245口
1万口当り基準価額(C/D)	9,279円

*期首における元本額は3,733,949,539円、当期中における追加設定元本額は13,679,621円、同解約元本額は621,148,915円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ短期国際機関債ファンド(年2回決算型) - 成長の絆(年2回) - 17,866,785円、ダイワ短期国際機関債ファンド(毎月分配型) - 成長の絆 - 3,108,613,460円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,279円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は225,292,046円です。

■損益の状況

当期 自2018年1月23日 至2018年7月23日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	114,901,976円
受取利息	114,905,459
支払利息	△ 3,483
(B) 有価証券売買損益	△357,847,930
売買益	14,614,931
売買損	△372,462,861
(C) その他費用	△ 377,529
(D) 当期損益金(A + B + C)	△243,323,483
(E) 前期繰越損益金	△ 14,918,704
(F) 解約差損益金	33,708,250
(G) 追加信託差損益金	△ 758,109
(H) 合計(D + E + F + G)	△225,292,046
次期繰越損益金(H)	△225,292,046

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。